



平成 19 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 協和医科器械株式会社
 代表者名 代表取締役社長 池 谷 保 彦
 (J A S D A Q コード番号 : 3 0 5 2)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 佐 野 良 直
 (T E L . 0 5 4 - 3 4 5 - 8 1 4 4)

平成 19 年 6 月期中間期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年6月期中間期(平成18年7月1日～平成18年12月31日)の業績予想について、平成18年9月15日(上場日)付当社「平成18年6月期決算短信(連結)」及び同日付当社「平成18年6月期個別財務諸表の概要」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 6 月期中間期連結業績予想の修正(平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	24,814	291	150
今回修正予想 (B)	24,985	180	98
増減額 (B - A)	171	△110	△52
増減率	0.7 %	△38.0 %	△34.9 %
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 6 月期中間期)	22,979	289	103

2. 平成 19 年 6 月期中間期個別業績予想の修正(平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	22,740	167	77
今回修正予想 (B)	22,990	110	56
増減額 (B - A)	249	△56	△20
増減率	1.1 %	△34.0 %	△26.9 %
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 6 月期中間期)	20,940	170	55

3. 業績予想修正の理由

(個別)

売上高につきましては、診療報酬の改定に伴う医療機関のコストダウンへの取り組み強化の影響により医療機器の販売価格が低下したことに加え大型の病院移転新築案件に係る売上が下期にずれ込む誤算もありましたが、PET(陽電子断層撮影装置)等の大型医療機器の販売や岐阜県内における新規案件の獲得等により、ほぼ計画どおりとなる見込みであります。

経常利益、中間純利益につきましては、上記した販売価格低下や移転新築案件のずれ込みに加え、大型医療機器の利益率が総じて低く、売上総利益が予想を下回ったことにより、計画を下回る見込みとなりました。

(連結)

連結の業績につきましては、上記した個別の要因に加え、連結子会社である(株)オズにおいて、販売競争激化により主力商品の販売価格が著しく低下したこと及び夏季(7～9月)に医療機関の症例数が激減したことにより、経常利益、中間純利益とも計画を下回る見込みとなりました。

4. 平成19年6月期通期の業績予想(平成18年7月1日～平成19年6月30日)

現時点におきましては、平成18年8月11日(上場前)に発表した平成19年6月期通期の業績予想に変更はございません。

[ご参考]

平成19年6月期通期連結業績予想(平成18年7月1日～平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今期予想	49,434	690	373
前期実績(平成18年6月期)	48,353	650	308

平成19年6月期通期個別業績予想(平成18年7月1日～平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
今期予想	45,336	453	233
前期実績(平成18年6月期)	44,237	391	179

以上

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。